

「アフリカの感染症を知る」シリーズ 第4回講演会

アフリカ協会文化・社会委員会主催「アフリカの感染症を知る」シリーズの第4回講演会のご報告です。

前回は今なお世界中で猛威を奮っている COVID-19 に関して、アフリカへの影響を中心に、グローバルヘルス技術振興基金 CEO の國井修先生にご講演を頂きましたが、今回は長崎大学大学院熱帯医学研究所の有吉紅也教授にエイズに関してのご講演をお願い致します。

1983年にエイズがフランスで発見されて以降、2020年までに世界で約8,000万人が感染し、3,500万人以上がエイズに関連する疾病により死亡したと推定されていますが、感染者の約7割がアフリカといわれるほどアフリカでの影響が最も高く、現在も多少減少したとはいえ、未だに年間150万人近い感染者が出ていると言われております。

有吉先生は発展途上国における熱帯医学、特に HIV/AIDS の原因究明・対処方法などに関して長年ご研究されており、今回興味深いお話が聞けると期待しております。

概要は、機関紙「アフリカ」冬号に掲載致します。また協会 HP にて講演内容を視聴できますので、ご参照願います。

概要

日時： 2022年10月14日（金） 14時から15時30分

場所： オンライン（ZOOM）

テーマ： 「エイズを通して学んだアフリカ」

講演者： 有吉紅也 長崎大学熱帯医学研究所教授

司会： 池上清子 長崎大学大学院客員教授、アフリカ協会理事、
野口英世アフリカ賞選考委員

プログラム

14時00分	開演	
14時00分	開催挨拶・講師紹介	（池上清子委員長）
14時10分	講演	（有吉紅也長崎大学熱帯医学研究所教授）
15時00分	質疑応答	（司会：池上清子委員長）
15時30分	終了	

文化・社会委員会主催「アフリカの感染症を知る」シリーズ
第4回講演会

講師略歴

池上清子：(いけがみ きよこ)

国連難民高等弁務官事務所、国連本部、国連人口基金を経て、現在長崎大学大学院客員教授
(熱帯医学・グローバルヘルス研究科)。

また、(公財) ジョイセフ、国際家族計画連盟ロンドン本部、(公財) プランインターナショナル
ジャパン (理事長)、日本赤十字社 (常任理事) など多くの市民社会組織 (CSOs) で経験を積む。
一貫して、開発途上国の女性の健康推進、自立支援に携わっている。

有吉紅也：(ありよし こうや)

86年旭川医大卒。内科研修後にジンバブエ大学で卒後臨床研修。

90年ロンドン大学衛生熱帯医学大学院在学時よりエイズ研究に従事。

インペリアル・カレッジ、オックスフォード大学を経てMRCガンビア研究所に6年間在籍。

98年に帰国。国立感染症研究所・タイ JICA 専門家を経て05年より現職。国際医療活動や研究を
志す医師を育成・支援している。

14年よりロンドン大学客員教授。

〈今後の予定〉

第5回講座【WEB配信】

■日 時：2023年1月19日(木)14:00～15:30

場 所：オンラインのみ(ZOOM)

テーマ：マラリアー 2030年までの排除への課題

講演者：狩野 繁之 国立国際医療研究センター研究所
熱帯医学・マラリア研究部 部長

司 会：池上 清子 長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科 客員教授
アフリカ協会理事(文化・社会委員会委員長)

第6回講座【WEB配信】

■日 時：2023年4月20日(木)14:00～15:30

場 所：オンラインのみ(ZOOM)

テーマ：3大感染症 結核(予定)

講演者：宮野 真輔 国立国際医療研究センター 国際医療協力局

司 会：池上 清子 長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科 客員教授
アフリカ協会理事(文化・社会委員会委員長)

第7回講座【WEB配信】

■日 時：未定(調整中)

場 所：オンラインのみ(ZOOM)

テーマ：感染症対策のグローバル枠組み

講演者：武見 敬三 参議院議員

司 会：池上 清子 長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科 客員教授
アフリカ協会理事(文化・社会委員会委員長)